| 学校番号 | 402 |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理Ｂ | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 帝国書院　「新詳地理Ｂ」「新詳高等地図」 | | | | | | |
| 副教材等 | 最新地理図表ＧＥＯ　（第一学習社） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球儀やさまざまな地図の活用，観察や調査，統計・画像・文献などの地理情報の収集・選択・処理，諸資料の地理情報化や地図化などを通して空間的に広がる諸事象の規則性や傾向性を考察する。

## ２　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養う。
地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味･関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。<br>○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。 | ○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。<br>○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。<br>○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。 | ○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。<br>○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。<br>○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，その成果をパワーポイントやレポートなどに的確にまとめることができる。 | ○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。<br>○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間･環境･地域），地理的見方･考え方を身につけている。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | 年４回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価する。<br>課題追究学習の際のレポートを評価のための資料とする。 | 年４回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価する。 | 年４回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価する。 | 年４回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における習得の状況を評価する。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 地理情報と地図 | 地図の種類とその利用について，球体としての地球の特徴を捉え，球体を地図に表現した場合の特性や，時差の求め方を通して，現代世界の地理的事象を捉える地理的技能をみにつける。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:現代世界の地図について，さまざまな時代や現代のさまざまな地図の読図，地理情報の地図化などの活動を通して，現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:現代世界の地図について，各時代の人々の世界観，ＧＰＳやＧＩＳなど現代の地図や交通案内図など身近な地図の有用性を考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界観の変化や現代の地図に関する諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，現代世界の地図について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界地図における各時代の人々の世界観の変化やＧＰＳやＧＩＳなど現代の地図のしくみと有用性を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 地図の活用と地域調査 | 地図の活用と地域調査について，直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的･多角的に調査し，生活圏の地域的特色を捉える地理的技能をみにつける。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:地図の活用と地域調査について，直接的に調査できる地域を地形図などの地図の活用と地域調査に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:地図の活用と地域調査について，地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:地域調査に関するデータや地形図などに関する諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，生活圏の地域調査について図表や発表用資料などにまとめたりしている。<br>d:地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真の読図方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 自然環境 | 世界の地形について，営力的な視点で分類し，大地形，小地形，その他の地形の分布や成因を考察するとともに，災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の地形について，営力的な視点からさまざまな大地形，小地形，その他の地形があることの考察を基に，災害と恩恵など人間生活との関わりに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界の地形について，内的営力，外的営力といった営力的な視点で分類し，大地形，小地形，その他の地形を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に，人間生活との関わりなどを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界の地形と人間生活との関わりに関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し,収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，世界の大地形，小地形，その他の地形の分布や成因と人間生活との関わりについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界の大地形，小地形，その他の地形について，系統地理的に捉える視点や考察方法，人間生活との関わりなどを理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 世界の気候 | 世界の気候について，気候要素と気候因子の関係から，その成り立ちを考察し，それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の気候について，気候要素と気候因子の関係から，さまざまな気候が成り立つことの考察を基に，各気候区の特徴や農業など人間生活への影響に対する課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界の気候について，気温，風，降水といった気候要素と緯度，水陸分布などの気候因子の関係から，気候の成り立ちを系統地理的に捉える視点や考察方法を基に，各気候区の分布や農業など人間生活への影響を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界の気候と人間生活への影響に関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，世界の気候の特徴と農業など人間生活への影響について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界の気候の成因，各気候区の特徴について，系統地理的に捉える視点や考察方法，人間生活への影響などを理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 日本の自然の特徴 | 日本の自然の特徴と人々の生活について，地形や気候の特徴と，これによる自然災害の特徴を理解するとともに，防災のあり方を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:日本の自然の特徴と人々の生活について，日本の地形や気候が世界と比較して特徴的であること，これによって生じる自然災害も特徴的であることの考察を基に，防災のあり方に対する課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:日本の自然の特徴と人々の生活について，プレート境界に位置し内的営力によって形成された地形の特徴や大陸東岸に位置する島弧という気候の特徴から，日本の自然を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に，自然災害の特徴やこれに対する防災のあり方を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:日本の地形と気候，自然災害と防災に関するデータや写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択し，これを基に，日本の地形と気候，自然災害と防災について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴について，系統地理的に捉える視点や考察方法，これに対する防災のあり方を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 環境問題 | 環境問題について，世界の環境問題の成因や特徴と対策，地域的な分布を大観し，さまざまな環境問題のうちから地球温暖化，森林破壊，砂漠化について，事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:環境問題について，世界の環境問題の概要や具体的事例，日本の環境問題に関する考察を基に，環境問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:環境問題について，自然環境の学習を生かして，世界の環境問題の成因や特徴と地域的な分布を大観し，さまざまな環境問題のうちから地球温暖化，森林破壊，砂漠化についての事例や，日本の環境問題の特徴と対策について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:環境問題とその対策に関するデータや写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に環境問題とその対策について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界の環境問題の概要と対策，地球温暖化，森林破壊，砂漠化の事例，日本の環境問題の特徴と対策について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 世界の農林水産業 | 世界の農林水産業について，農業地域区分や，現代世界の農林水産業の現状と課題，及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の農林水産業について，農業地域区分や林水産業に関する分布や動向などに関する考察を基に，現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界の農林水産業について，グローバル化が進むなかでの現代世界や日本の農業の現状と課題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，農林水産業の現状や課題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:各農業地域の分布や特徴，世界や日本の農業の動向について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 食料問題 | 食料問題について，世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し，発展途上国，先進国，日本についての事例を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:食料問題について，食料需給の地域的かたよりや不安定さに関する考察を基に，発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題の状況とその成因を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:食料の生産と消費の地域的かたよりに関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し,収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，食料問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:発展途上国，先進国，日本の食料事情の動向について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | エネルギー・鉱産資源 | 世界のエネルギー・鉱産資源について，エネルギー資源の利用と分布，鉱産資源の分布を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界のエネルギー・鉱産資源について，エネルギー資源や鉱産資源の分布や動向などに関する考察を基に，エネルギー資源や鉱産資源の利用に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，資源の生産や分布について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:エネルギー資源・鉱産資源の種類と利用法，分布や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資源エネルギー問題 | 資源･エネルギー問題について，現代世界の資源･エネルギー問題を大観し，世界の資源をめぐる問題，エネルギー生産や消費の抱える課題，日本の資源･エネルギー問題を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:資源・エネルギー問題について，生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に関する考察を基に，世界と日本の資源・エネルギーの利用に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:資源・エネルギー問題について，生産と消費の不均衡や利用法の課題，石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，資源・エネルギー問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:資源やエネルギーの不均衡や石油情勢，エネルギーのあり方について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 世界の工業 | 世界の工業について，工業の発達や立地，世界の工業地域や，世界の工業の現状と課題，及び日本の工業の課題を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の工業について，工業の発達や立地，工業地域の分布や動向などに関する考察を基に，世界と日本の工業に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界の工業について，工業の発達や立地の考え方や世界や日本の工業の現状とその背景，グローバル化が進むなかでの課題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界の工業について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:各工業や工業地域の特色,分布や動向などについて,系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第3次産業 | 第3次産業について，現代世界の第３次産業の発展と，世界と日本の観光業の特色を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:第３次産業について，現代世界の第３次産業の発展と世界と日本の観光業の特色に関する考察を基に，第３次産業や観光業に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:第３次産業について，情報化の進展と第３次産業の変化や役割，観光の国際化と多様化を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:商業やサービス業，観光業の動向に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，第３次産業の動向について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:商業やサービス業，観光業の特色や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 交通･通信 | 世界を結ぶ交通･通信について，交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界を結ぶ交通・通信について，交通や通信の発達に関する考察を基に，交通・通信や情報の一体化と地域差に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界を結ぶ交通・通信について，交通や通信の発達によって，交通・通信や情報が一体化する一方で地域差も生じていることを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界を結ぶ交通・通信について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:交通や通信の発達の状況や一体化の進行，地域差の拡大について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 貿易と経済圏 | 現代世界の貿易と経済圏について，世界貿易や経済圏の現状と課題や，世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:現代世界の貿易と経済圏について，貿易や経済圏の動向などに関する考察を基に，世界経済の現状や日本の貿易や経済に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:現代世界の貿易と経済圏について，多様化する貿易や貿易の地域差，経済圏と貿易のあり方を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，現代世界の貿易と経済圏について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:貿易に関する用語や経済圏の組織，世界の貿易の特色や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 人口問題と村落・都市 | 世界の人口について，世界人口の分布の特色や動態，人口構成や人口転換を考察する。人口問題について，世界の人口問題を大観し，発展途上国，先進国，日本の人口問題の事例を考察する。村落・都市の立地や発達・機能や，日本の都市の特徴を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:世界の人口について，世界人口の分布や動態などに関する考察を基に，人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:世界の人口について，世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因，人口構成と人口転換の考え方，国際的な人口移動の背景を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:世界や州別・国別の人口分布や動態に関するデータなどの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界人口の特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界人口の分布と動態，人口構成の特色と人口転換のしくみを，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 生活文化、民族・宗教 | 民族と宗教について，民族と言語，世界の宗教の分布や特徴，生活との関わりについて考察する。<br>民族・領土問題について，現代世界の民族・領土問題を大観し，日本の民族や領土，世界各地の民族の共生についての課題を考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:民族・宗教について，民族・宗教とは何か，生活とどのようにかかわっているかに関する考察を基に，民族と宗教に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:民族・宗教について，民族とは何かを言語との関わりから，宗教とは何かを生活との関わりから，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:民族と言語や，宗教と生活の関わりに関する写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，民族・宗教の分布や特徴，生活との関わりについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:世界の言語分布や宗教の特徴，生活との関わりについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 現代世界の諸地域 | 地誌の考察方法について，地誌的に考察する方法として，多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:地誌の考察方法について，地誌的に考察する三つの方法の理解を基に，地誌の考察に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:地誌の考察方法について，多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する方法，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法には，考え方にどのような特徴があり，これによってどのようなことがわかるのかを，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:地誌的に考察する方法に関する事例などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，地誌の考察方法について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する方法，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法とはどのような捉え方かを理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 東アジア | 東アジアについて，形式的な地域区分に基づき，地形と気候，中国の民族と人口，食生活と農業，工業化と経済発展，中国の動向と日本，朝鮮半島の成り立ち，韓国の産業，隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:東アジアについて，中国や朝鮮半島の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に，東アジアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:東アジアについて，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，中国の人口増加と経済格差や中国・韓国の経済発展のしくみなどの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:東アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，東アジアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:東アジアの自然の特徴，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容や実態，中国の人口増加と経済格差や中国・韓国の経済発展の実態などの地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 東南アジア | 東南アジアについて，形式的な地域区分に基づき，自然，歴史と文化･民族，農業と変化，ASEANと工業，ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:東南アジアについて，東南アジア諸国の自然･歴史･文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に，東南アジアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:東南アジアについて，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，ASEAN 諸国にみられる農業の変化や工業の発展のしくみ，地域格差や都市問題のしくみや考え方などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:東南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，東南アジアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:東南アジアの自然の特徴，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，ASEAN 諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題の実態など地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 南アジア | 南アジアについて，形式的な地域区分に基づき，地形と気候，歩みとヒンドゥー教，インドの農業と農村，工業･IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:南アジアについて，インドを中心とした地域の自然･歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に，南アジアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:南アジアについて，インドのヒンドゥー教を中心とした社会の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，インドの農業の発展と農村の変化と課題，ＩＴ産業の発展のしくみなど地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，南アジアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:南アジアの自然の特徴，インドのヒンドゥー教を中心とした社会の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，インドの農業の発展と農村の変化，ＩＴ産業の発展の実態など地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 西アジア・中央アジア | 西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき，自然，イスラームの生活文化，交易と都市，資源と産業の面において，類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題を基に，西アジアと中央アジアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:西アジアと中央アジアについて，二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，交易を軸に発展した都市の共通性の背景，恵まれた資源と産業の共通性と課題などの地域的特色や地球的課題を，類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:西アジアと中央アジアに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，西アジアと中央アジアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:西アジアと中央アジアの自然の特徴，二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，交易を軸に発展した都市や恵まれた資源と産業などの共通する地域的特色や地球的課題について，類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アフリカ | 北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき，気候と植生，歴史的背景と文化，一次産品への依存，生活の変化と他地域との結びつきの面において，対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化の地域にみられる地域的特色や地球的課題を基に，北アフリカとサハラ以南のアフリカに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化の地域の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，これによって生まれた文化の異質性，一次産品への依存が強い経済構造とその違い，生活の変化と他地域との結びつきのしくみなどの地域的特色や地球的課題を，対照的な性格の二つの地域を比較して考察する方法を基に多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:北アフリカとサハラ以南のアフリカに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，北アフリカとサハラ以南のアフリカについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:北アフリカとサハラ以南のアフリカの自然の特徴，中近東文化と中南アフリカ文化の地域の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，これによって生まれた文化の特徴，一次産品への依存が強い経済構造の特徴，生活の変化と他地域との結びつきの実態などの地域的特色や地球的課題について，対照的な性格の二つの地域を比較して考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ヨーロッパ | 北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき，気候と植生，歴史的背景と文化，一次産品への依存，生活の変化と他地域との結びつきの面において，対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:ヨーロッパについて，ヨーロッパの各地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に，ヨーロッパに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:ヨーロッパについて，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，各地域の民族と宗教の課題，ＥＵを中心とした地域の結びつきと農業・工業のしくみや変化の構造的課題などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:ヨーロッパの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，ヨーロッパについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:ヨーロッパの自然の特徴，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，各地域の民族と宗教の特徴，ＥＵを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化の実態などの地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | ロシア | ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき，歴史と社会の変化，変化した産業，極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題を基に，ロシアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:ロシアについて，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，社会主義時代からの農業構造の変容，現代ロシアの鉱工業の構造，極東ロシアと日本との関係の課題などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:ロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，ロシアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:ロシアの自然の特徴，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，社会主義時代からの農業構造の変容や現代ロシアの鉱工業の実態，極東ロシアと日本との関係の現状などの地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アングロアメリカ | アングロアメリカについて，ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき，自然環境，アメリカ合衆国の移民国家としての発展，人口と都市，農業，科学技術と産業，世界のなかのアメリカ合衆国，アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:アングロアメリカについて，移民国家としてのアメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題を基に，アングロアメリカに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:アングロアメリカについて，北西ヨーロッパからの移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，アメリカ合衆国の移民国家としての人種・民族的課題，大都市問題のしくみ，農業と工業の変化と課題，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係のしくみなどの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:アングロアメリカに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，アングロアメリカについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:アングロアメリカの自然の特徴，北西ヨーロッパからの移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，アメリカ合衆国の移民国家としての人種・民族的特徴，大都市問題の実態，農業と工業の変化と実態，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題について，項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ラテンアメリカ | ラテンアメリカについて，ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき，自然環境，文化，大土地所有制と農業の変化，工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する， | ○ | ○ | ○ | ○ | a:ラテンアメリカについて，スペインやポルトガルの影響を強く受けた地域的特色や地球的課題を基に，ラテンアメリカに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:ラテンアメリカについて，先住民の文明がスペインやポルトガルに植民地化された歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，これによって，複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴が生まれたしくみ，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の課題などの地域的特色や地球的課題を，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:ラテンアメリカに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，ラテンアメリカについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:ラテンアメリカの自然の特徴，先住民の文明がスペインやポルトガルに植民地化された歴史的背景をふまえた地域の変容の実態，これによって生まれた複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の実態などの地域的特色や地球的課題について，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | オセアニア | オセアニアについて，形式的な地域区分に基づき，一つの大陸と太平洋の島々，移民の歴史と多文化社会，強まるアジアとの結びつき，アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:オセアニアについて，一つの大陸と太平洋の島々の自然，オーストラリア，ニュージーランドの歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題を基に，オセアニアに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:オセアニアについて，オーストラリア，ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容や構造，これによって，オーストラリア，ニュージーランドの民族・文化的特徴が生まれたしくみ，深まるアジアとの関係と課題などの地域的特色や地球的課題を，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:オセアニアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，オセアニアについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:オセアニアの自然の特徴，オーストラリア，ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容と実態，これによって生まれたオーストラリア，ニュージーランドの民族・文化的特徴，深まるアジアとの関係の実態などの地域的特色や地球的課題について，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |
| | 現代世界と日本 | 現代世界における日本の特色について，多面的・多角的に考察し，日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して，その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:現代世界における日本の国土について，現代における日本の特色や日本が抱える地理的な諸課題を基に，現代世界における日本に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。<br>b:現代世界における日本の国土について，安定成長期を迎えた日本の特色を構造的に捉え，日本が抱える地理的な諸課題とその解決の方向性や将来の国土のあり方などを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。<br>c:現代世界における日本の国土に関する統計などの，諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，現代世界における日本の国土について読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:安定成長期を迎えた日本の特色や日本が抱える地理的な諸課題を理解し，その知識を身につけている。 | 定期考査・課題 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。